

事務事業名	飯田産業技術大学事業				会計	一般会計	実施区分	継続	
					事業種別	政策	開始	12 終了	
H29作成課等名	工業課	H29係等名	工業振興係	H28担当課等名 工業課					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化						
目的	対象(誰・何を)	地元企業の従業員及び経営者				対象指標	指標名及び単位		28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	必要な技術及び経営管理能力を習得してもらい、企業の技術力向上と経営改善による体質強化することで、企業規模を拡大してもらいたい。					工業統計による事業所従業員数(飯田下伊那地域)	15514	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の出荷額(工業)飯田下伊那(億円)					経営者数(飯伊地域)	486	
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	受講企業数			220	230	250	224	
	定性目標								
事業概要	<p>複数の大学や地元の専門学校や職業高校、支援機関等から講師を招き、地元企業(主に製造業)の従業員、経営者を対象に基礎技術や経営管理能力を学ぶための各種講座を開催する。                  平成20年度より情報産業人材育成事業も含め事業展開する。                  平成20年度より研究開発の支援も行う。                  平成25年度よりEMCシンポジウムも人材育成の一環であることから、飯田産業技術大学事業に統合した。</p>								
28年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	1 大学・支援機関等と連携し、年間を通しての3分野の講座を実施する。 (1)技術講座(初級・中級・上級) (2)経営講座 (3)企業ニーズに沿った特別講座の開催 (4)特別講座として信州大学「特別な課程」1年コースの開講 2 EMC技術者の育成支援 (1)EMC委員会の開催 (2)第17回EMCシンポジウムIIDA2016の開催				1 延べ受講者数 開講講座(回数) 2 (1)EMC委員会回数 (2)EMCシンポジウム参加者数			1 913人 27講座 2 (1)5回 (2)101人	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		1,635	2,700	2,700	0	(そ)ふるさと寄附金			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他				1,212					
一般財源		1,635	2,700	1,488					
人件費計(千円)②		1,073	1,073	1,073	0				
正規職員所要時間		300	300	300					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,708	3,773	3,773	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り		27講座(技術・経営・特別講座)を実施することができた。特に技術講座では、飯田技術専門校の汎用機械を有効活用し、外部講師による実践的な研修を行うことができた。また、出前講座として飯田コアカレッジの学生に対して三次元CADの初級講座、新たにEMC関連のVCCIセミナーを実施することができた。							
改革改善の考え方	①問題点	講座により参加者数にばらつきがあり、参加者数の少ない講座は内容について検討する必要がある。また、EMCシンポジウムについては、地域外からの参加者が固定化しているため、新規参加者の開拓のための方策を検討する必要がある。							
	②改革提案	講座内容の検討については参加者アンケートのみならず、参加企業等のヒアリングによりニーズを確認しながら事業運営に反映するとともに、新たな分野(食品系)を対象にした講座を企画する。また、EMCシンポジウムへの地域外からの参加者を獲得するために、事前告知等PR、EMC委員への周知等に努めていきたい。							